

## 7. オホーツク海の生きもの

### 流氷の妖精クリオネ

クリオネとは生きものを分類（グループ分け）したときにクリオネ属に入る生きものの呼び方で世界中に4種類が知られています。さらに大きな分類では巻貝の仲間になり、さらに大きく分けるとイカやタコの仲間になります。オホーツク海では**ハダカカメガイ**、**ダルマハダカカメガイ**と2種類のクリオネを流氷の時期に見ることができ、みんなの人気者です。ダルマハダカカメガイは2016年に約100年振りに新種のクリオネとして発見されました。クリオネを水中の生活型で分けると泳ぐ力が弱く水中や水面を漂って生活するプランクトンになります。

学名とは世界共通の名前で、  
和名は日本共通の名前なんだ



学名 *Clione elegantissima*  
和名 ハダカカメガイ

新種は小さくて  
太って見えるね



学名 *Clione okhotensis*  
和名 ダルマハダカカメガイ

ハダカカメガイの食事方法は**バツカルコーン（口円錐）**と呼ばれる触手でミジンウキマイマイを捕まえ、貝殻以外のやわらかい部分を食べます。



学名 *Limacina helicina*  
和名 ミジンウキマイマイ

これが  
エサ？



コワイ！



バツカルコーンで捕まえる

他にも流氷シーズンのオホーツク海で見られる生きものがあります。

## アザラシ

アザラシの仲間は日本では5種類みられ、オホーツク海では4種類が知られています。オホーツク海沿岸では背中に灰色と黒のまだら模様がある**ゴマフアザラシ**、はっきりとした灰色で縁取りされた模様がある**ワモンアザラシ**、体の白い帯状の模様が特徴の**クラカケアザラシ**、日本で見られるアザラシで一番大きく、長いヒゲが特徴の**アゴヒゲアザラシ**がありますが、一番多いのはゴマフアザラシです。流氷が来る前から海面から頭を出している様子が見ることができます。流氷の時期には流氷に乗っている姿も見ることができます。毛が乾くとフサフサになります。



**ゴマフアザラシ**  
乾燥してフカフカになっている。

## オオワシ、オジロワシ

**オオワシ**は日本で見られる最大級のワシで大きいものでは翼を広げた長さが2m50cmになります。体は黒っぽく、翼の前、尾羽、足の羽が白いのが特徴です。ロシアから渡ってくる冬鳥で生息数は5,000羽と考えられていて天然記念物、希少野生動物種に指定されています。

**オジロワシ**は一部が通年北海道で生息しますが、多くが冬鳥としてロシアから渡ってきます。オジロワシも大型で翼を広げた長さが2mを超えるものもいます。体は茶色で尾羽が白く、翼の前は白くないのが特徴です。天然記念物、希少野生動物種に指定されています。



大きいのはワシだ



**オオワシ**



**オジロワシ**

写真提供：もんべつかいはつくらぶ大館和広